

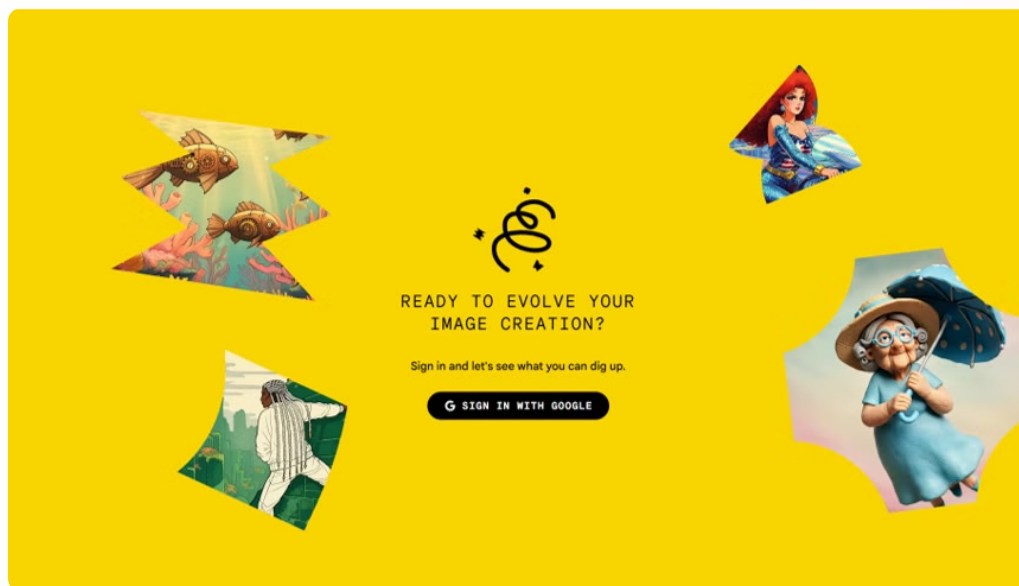
Google Whiskを活用した思い出写真のプレゼント画像作成

Google Whiskは、画像を組み合わせることで新しいビジュアルを生成するAIツールです。テキストではなく視覚的な要素を直接組み合わせられる点が最大の特徴で、直感的な操作でクリエイティブな画像を作成できます。

Whiskの基本的な使い方を解説します。思い出写真をチョコレートやカプセルトイ風に変換して、喜ばれるプレゼント画像を作りましょう♪



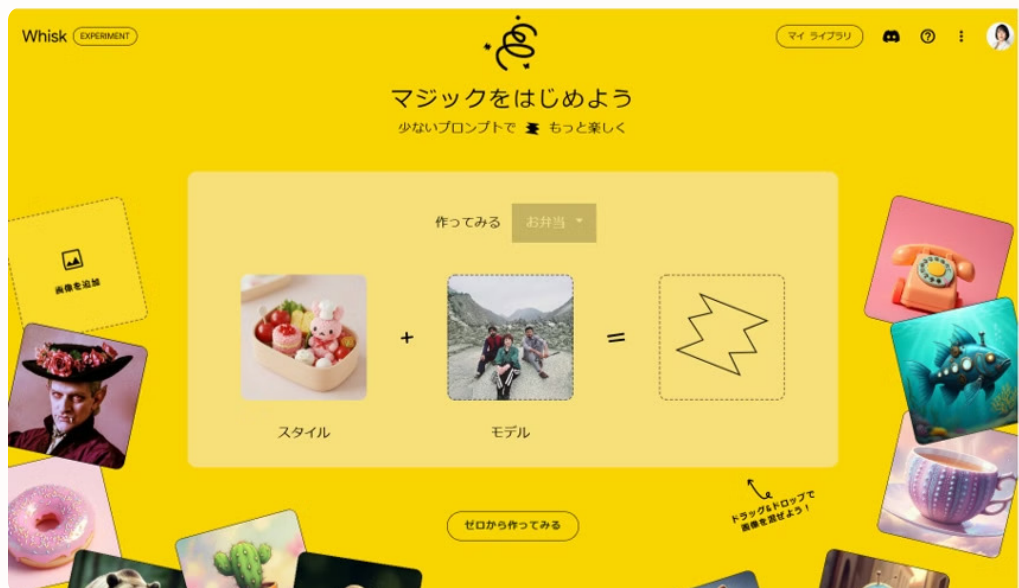
Google Whiskとは？



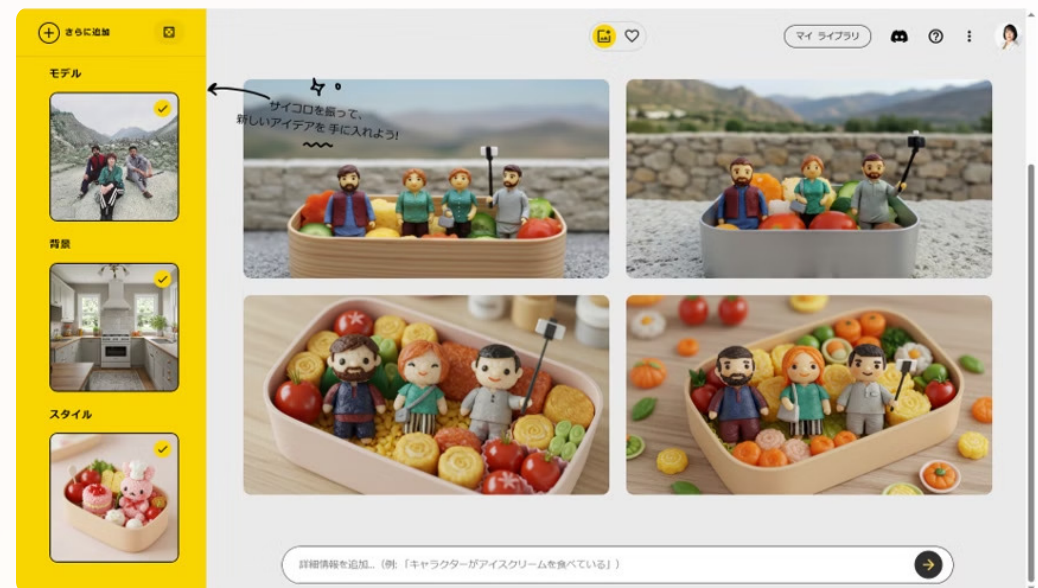
1. <https://labs.google/fx/tools/whisk>にアクセスして、Googleアカウントでログインしましょう。



2. まずスタイルを選びます。「作ってみる」のプルダウンからお弁当を選んでみましょう。



3. 「モデル」に、利用したい写真をアップロードします。思い出写真、ペットの写真など。



4. 生成されたイラストは、画面下の欄に「もっと●●にして」と書くことで要求できます。単純に「→」をクリックするだけでも毎回さまざまなイラストが生成されます。

メイン画面

メイン画面は左側の入力パネルと右側のプレビュー領域に分かれています。入力パネルは以下の3セクションで構成されています。

- モデル：メイン被写体となる画像（最大5MB、JPEG/PNG形式）
- 背景：環境設定用画像（風景写真など）
- スタイル：芸術的表現を決定する参照画像

これを日本語にすると、

「モデル」の写真を「スタイル」にしたい。

背景は「背景」ね。

となります。右の画像で、上の2枚は、「モデル」がお弁当になっていますが、背景まで「モデル」の雰囲気が使われています。これは「背景」を指定しなかったサンプルです。その後、「背景」にキッチンの写真を設定してあげることで、下段の「被写体がお弁当になり、背景もキッチン」ができます。



【コツ】生成AIの画像生成は、「ガチャ」要素が多くあります。つまり、何も設定を変えなくても、「→」ボタン（画面右下）を連打してだけで、さまざまなものが出力されます。まずは、何も変えずに「→」を何回かクリックしてみましょう。気に入った画像がでてきたら、保存します。

画像生成例

うちの猫。頭の下にタオルを敷いたら、タオルをうまく使って生成してくれました。



パキスタンのしごと仲間との写真を。持っているのはインスタ360なのですが、自撮り棒になっていますね。😂



基本操作を詳細に知りたい方向け

1

クイック作成フォーマーミュラ活用（プルダウンで選ぶだけ）

テンプレート機能では、主要な使用ケースが事前にセットされています。バレンタイン特集では「チョコレートボックス」「ラブレター」「ハート型アクセサリ」などのプリセットが用意されていました。日本のイベントに合わせた戦略をとっているようで、今後も季節ごとにいろいろなテンプレートがでてくると思われます。

2

ゼロからつくる場合の、素材選択

モデル画像：人物写真の場合は正面顔が推奨（解像度最低300dpi）

背景画像：遠近法が明確な風景写真が適する

スタイル画像：質感（水彩、油絵など）を決定する参考画像

上記の画像を設定するか、鉛筆マークを押してプロンプトを書くこともできる

3

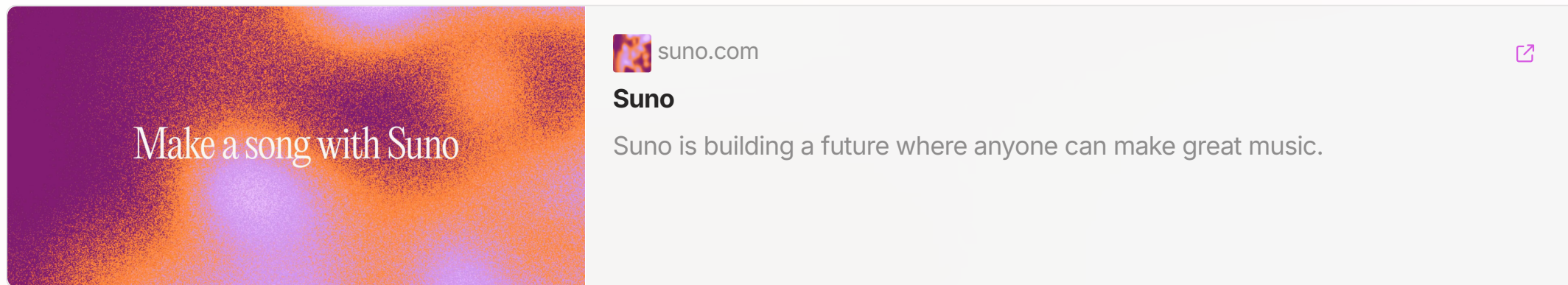
プロンプト調整機能

生成された画像を編集可能です。例えば「背景を夕焼け色に」「モデルの服を紺色に変更」などの指示を追加できます。

パーソナルなお礼画像に

今年のバレンタインは、仕事仲間やお世話になっている先生に、プロフィール画像をつかったチョコレート画像をお送りして、とても喜ばれました。メッセージに画像や音楽がついてくるだけで、楽しみ度が変わりますね。

今回は画像でしたが、パーソナルな曲をつくって贈ることができるSuno aiも人気です



こちらはわたしが以前つくった猫好きのためのハードロックです。「Cat!」しか叫んでいません。😂

<https://suno.com/song/fa2f27d4-8fde-436e-bb64-c162597a1bef?sh=tacvwBC2DiQiXPLa>